

第261号

平成24年(2012年) 8月4日 発行:府中市議会
http://www.city.fuchu.tokyo.jp/gikai〒183-8703 府中市宮西町2丁目24番地
電話 042(335)4506 FAX 042(364)5415

▶地域まつりで東京国体をPR(新町文化センター)



第2回定例会

平成24年度府中市一般会計補正予算を可決

9議案を審議

今定例会で、市長から平成24年度一般会計補正予算(第1号)の議案が提出され、定例会最終日の本会議で、採決の結果、全会一致で可決されました。

補正額は、歳入・歳出それぞれ4億4478万9千円となり、これによって24年度一般会計予算総額は、897億9478万9千円となりました。

今回の補正予算は、高野市長の就任に伴い、24年度一般会計予算(第1回定例会で可決)から留保された財源から、新規事業や投資的経費等を追加し、計上されました。

補正予算の内容は次のとおりです。

■歳入

○市税:2億2748万9千円

○都支出金:1億7490万円

○寄附金:4240万円

■歳出

○行財政改革検討協議会(仮称)の運営に係る経費:79万9千円

○広報及び公聴活動に係る経費:231万円

○現業事務所の整備に係る経費:2800万円

○文化センターの整備に係る経費:2843万9千円

○児童クラブの整備に係る経費:5696万円

平成24年第2回市議会定例会は、6月4日から20日までの17日間の会期で開催されました。市長提出議案は、平成24年度府中市一般会計補正予算(第1号)など7件を審議した結果、可決5件、同意2件となりました。議員提出議案は、尖閣諸島の実効支配を推進するための法整備を求める意見書など2件を審議し、すべて可決されました。

○保健センターの整備に係る経費:640万円

○府中の森市民聖苑の管理運営に係る経費:2884万7千円

○道路の拡幅改修及び改良事業等に係る経費:5498万円

○都市公園等の整備に係る経費:3343万円

○消防施設の整備に係る経費:4465万4千円

○防災施設の整備に係る経費:2539万円

○教育センターの整備に係る経費:316万円

○小学校の管理に係る経費:1050万円

○小学校校舎等の整備に係る経費:9995万円

○生涯学習センターの整備に係る経費:1820万円

○ハケ岳府中山荘の整備に係る経費:277万円

国会などへ

意見書

◎尖閣諸島の実効支配を推進するための法整備を求める意見書

尖閣諸島が我が国固有の領土であることは歴史的・国際法的に明確であるが、中国が不当に領有権を主張している。このまま放置すれば我が国の領土保全は極めて不安定な状況になる恐れがあり、尖閣諸島の実効支配を早急に強化し、「尖

閣を守る」国家の意志を明確に示す必要がある。

また、豊富な海底資源を保全し国益を守るためにも国境となる離島の適切な管理を進めていく必要がある。

よって、本市議会は、国会及び政府に対し、我が国の領土・主権を毅然たる態度で守る意思を内外に明確にするため、領域警備に関する必要な法整備を速やかに講じることなど3項目の実現を強く求める。

◎北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書

平成18年以降、政府は首相を本部長とする対策本部をつくり、担当大臣を任命して北朝鮮による拉致被害者の救出に取り組んでいるが、いまだ具体的な成果を上げることができていない。

23年末の金正日の死は、後継、金正恩政権の不安定さを含め、救出の好機とな

り得る。金正恩政権に強い圧力をかけ、実質的交渉に引き出さなければならぬ。

拉致問題は重大な主権侵害であり、かつ許しがたい人権侵害であることは言うまでもない。

よって、本市議会は、国会及び政府に対し、今年を勝負の年として、全精力を傾けてすべての拉致被害者を早急に救出するように強く要望する。

人事議案

定例会の本会議において、市長から副市長の選任の同意を求める議案と人権擁護委員候補者の推薦の同意を求める議案が提出され、次の方々が同意されました。

■副市長

中島 信一氏(74歳)

■人権擁護委員候補者

酒井 克典氏(59歳)

定例会日誌

(次の日程で開催しました)

<6月>

4日 本会議(委員会付託等)

5日 " (一般質問)

6日 " (")

7日 総務委員会

8日 文教委員会

11日 厚生経済委員会

12日 建設環境委員会

13日 基地跡地対策特別委員会

14日 再開発対策特別委員会

15日 市庁舎建設特別委員会

18日 予算特別委員会

20日 本会議(常任・特別委員会
審査報告等)